

発見!

牛久のお宝

問 文化芸術課(中央生涯学習センター内) ☎871-2301

第2回 縄文人の祈り



土偶
(長さ約5cm)

縄文人は、土偶とよばれる素焼きの人形を作りました。ヤツノ上遺跡(ひたち野東)では、平成2〜4年に土地区画整理事業に伴う発掘調査が行われ、縄文時代晩期(約3千年前)の土偶(市指定文化財)の顔の部分が見つかりました。眉と鼻はT字形、目は円形に粘土を盛り上げ、棒状工具を突き刺して表現しています。口は剥がれていますが、目と同じ表現方法だったと思われまます。また顔の左右には小さな穴があり、耳を表わしています。ヤツノ上遺跡では体の部分



は見つかっていませんが、土偶はそのほとんどが女性の姿をかたどっており、バラバラに壊された状態で出土します。縄文人は土偶を壊すことによって、子孫や村の繁栄を祈る祭りをしていたと考えられます。

今回紹介した土偶は、かっぱの里ギャラリー(かっぱの里生涯学習センター内)で展示中

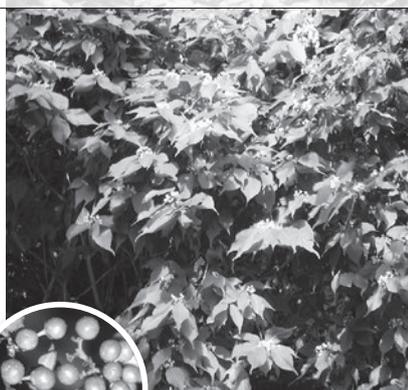
里山の樹木

問 都市計画課
☎内線2524

開花期の樹冠：刈谷町1丁目の斜面林
平成24年6月20日撮影

第18回

ムラサキシキブ



果実：牛久自然観察の森
平成23年11月16日撮影

秋、美しい紫色の球形果実に出会い思わず「君の名は？」と。その名がムラサキシキブと聞き、生涯忘れ得ぬ樹木の一つとなった方も多いのではないだろうか。

北海道南部〜琉球の山野に自生するシソ科の落葉低木で、

文芸さろん | 水無月 |

シヤトーカミヤ異国情緒にワイン飲み
花みずき大通り咲き匂う夕映の街
少しづつ緑広がる田植えかな
春障子細目に琴の音を逃す
春寒や見わたす限り新緑に
澄みきった空気分さわやか
牛久沼一望出来る風景は
三日月橋のカッパの碑なり
庭の草取りゆけばニラの群生あり
明日の食材に摘み取り置かむ

山崎さん
岡村さん
サッコ
高階さん
枝さん
草葉
匿名希望

【作品募集】イラストや俳句、川柳、短歌など
【あて先】〒300-1292牛久市中央3-15-1
「広報うしく文芸さろん」係 FAX: 873-2512
E-mail: kouhou@city.ushiku.ibaraki.jp
【記載事項】作品、氏名、電話番号、匿名希望の方はその旨(ペンネームもOK)

市内では林縁などに生えている。花は6〜7月、ほのかに香る小さな釣鐘形淡紅紫色。幹は細く、枝の粘りが強く2尺箸などに利用されてきた。庭木として流通しているのは近縁種のコムラサキが多い。本種の葉縁鋸歯は上半分のみなので、全体に鋸歯があるムラサキシキブとの見分けに挑戦してみてもどうでしょうか。

※牛久の里山樹木ハンドブック50ページに掲載。本に関するお問い合わせは牛久自然観察の森(☎874-6600)まで。

【資料提供】NPO法人うしく里山の会樹木リサーチ(文章：秋山由美子、写真：渡辺泰)